

# 市民のいのち・暮らしを守る予算を

**3月議会  
予算集中審査**

3月13日～17日

3月13日から17日まで5日間にわたり、予算決算常任委員会が開催され、令和5年度一般会計予算案について集中審査が行われました。日本共産党甲賀市議員団は、市民のいのちと暮らし最優先の予算になっているか、市民の願いが盛り込まれているか、無駄な予算はないかなどの視点から積極的に発言をしました。17日の委員会最終日には、西山実議員が反対討論を行いました。公明党の堀郁子議員が賛成討論を行い、賛成多数で可決すべきものと決しました。23日の本会議最終日に、新年度予算案をはじめ、各議案に対する採決が行われました。

新年度の予算総額は前年度より26億円増の439億円。予算決算常任委員会では子育てや教育、地域経済、介護などの事業について各部署ごとに審査が行われました。

当初予算におけるコロナ感染防止対策予算は、全体で6,058万9千円で主に消毒液、マスク等の購入費用、相談やワクチン接種証明書の発行など経費です。検査体制の充実、県に要請するとの答弁でした。

令和5年度予算案におけるアウトソーシングにかかる費用の総額は45億1,778万円、地域包括支援センター及び戸籍事務窓口業務の増額、放課後児童クラブや保育園運営等に係る運営管理費等が増額しています。

民営化しすぎとの指摘に対して 市民サービスが低下しないよう、効果的な手法を検討したいとの答弁でした。

保育園の待機児童が0と報告されましたが、希望した保育園に入れない入園調整は70人との回答がありました。施設整備も含めて実質待機児童ゼロを実現するのが行政の責務と質しました。

## 一般会計予算案 西山実議員が反対討論

### 《西山実議員の反対討論骨子》

新型コロナが5月8日に5類に引き下げられ、国の予算が削られても、市独自の命を守る予算はきちんと確保すべき。合わせて物価高騰から市民の暮らしを守るための予算を拡充すべき。

市職員の時間外予算と実績との差が大きい。とりわけ深夜におよぶ残業は問題。適正配置のために抜本的な体制強化の予算を求める。

毎年8月6日の広島平和記念式典に市内の小学生を派遣してきた事業予算が、新年度の予算で削られている。市が長年続けてきた貴重な平和施策をなぜ削減するのか。再考を求める。

令和5年度の予算でもアウトソーシング、業務委託が拡大している。甲賀・土山の地域包括支援センターまで業務委託する予算案。特に福祉や医療にかかわる業務委託は、市民の暮らしや健康、命に直結しており問題。業務のノウハウを着実に積み重ねていくことができる市の直営が望ましいと考える。

昨年10月から中学校卒業までの医療費の完全無料化が実現した。さらに踏み込んで高校卒業までの医療費の無料化、義務教育中の学校給食費の無償化の予算が求められる。

## 令和5年度一般会計補正予算(第1号) 新型コロナウイルスワクチン接種事業

新型コロナウイルスワクチン特例臨時接種の実施期間延長に伴う接種体制の整備及び予防接種を行うための補正予算5億973万1千円が提案されました。

### 令和5年春開始接種 5～8月

- 初回接種（1・2回接種）を終了した
- ・高齢者（65歳以上）
  - ・基礎疾患を有する方（5～64歳）
  - ・医療従事者

### 令和5年秋開始接種 9月以降

初回接種（1・2回接種）を終了した5歳以上のすべての方

## 平和記念事業削減に抗議、市に復活を申し入れ



広島に行った子どもたちはキノコ雲の下で起こった戦争の実相をしっかりと学んでします。私たち大人の想像を超える、大人以上に鋭い感性を働かせた学びをしています。

滋賀県の中でも特質すべき素晴らしい取り組みです。予算の全額カットを取り消して頂き、小学生の広島平和記念事業の復活を強く求めます。

毎年8月6日に広島で行われる平和記念式典に甲賀市の子どもたちを送ってきた「広島平和記念式典参加事業」が、令和5年度当初予算から削減されたことを受け、17日、事業の復活を求め、諸団体とともに、事業の予算復活を申し入れました。

## 日本共産党

### 甲賀市議員団ニュース

2023年 3月 26日 第443号



山岡 光広  
甲南町森尻 16  
Tel 86-2985  
Fax 86-0415



岡田 重美  
土山町南土山甲 78-15  
Tel 66-0696  
Fax 66-0696



西山 実  
水口町本丸 3-28  
Tel 62-3044  
Fax 62-3044